

## 主要科目の特長・科目ごとの目標等

### ○人間健康学部

#### ・健康栄養学科

##### 「臨床栄養学」

傷病者の病態や栄養状態に基づいた総合的な栄養管理を学ぶ教科で、管理栄養士として臨床の現場に必要な基礎的知識を習得する。具体的には、栄養状態の評価・判定や栄養補給法、栄養教育、食品と医薬品の相互作用、医療保険、介護保険制度やチーム医療などによる管理栄養士の役割について理解する。実際には、疾患と栄養、医療と臨床栄養、福祉・介護と臨床栄養などの関係を理解し、さらに栄養ケア・マネジメント、傷病者の栄養アセスメントの手法を学ぶ。本教科では「解剖生理学」、「病理学」、「臨床医学論」を充分理解した上で傷病者の病態や栄養状態、身体状況を評価・判定し、適切な食事計画や栄養管理を学ぶ。循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、内分泌疾患、歯科疾患、神経疾患などの各疾患別の栄養食事療法を詳しく理解するとともに、その疾患に対応した栄養食事療法を実践実習する。また栄養障害が原因で発病する疾患について学び、その予防法、治療法に関する栄養評価法を習得する。

##### 「臨床心理学」

乳児期から老年期までの身体発達と、各段階における心理的、社会的な発達課題について理解することを目標とする。また、各発達段階においてどのような心理的問題、身体的問題が生じやすいと考えられているのか学ぶ。そして、心理的、身体的な問題を抱えた人々へ具体的にどのような支援を行うのか、支援を行う際の留意点、支援者の姿勢などを含め学ぶ。さらに、「カウンセリング論」において、栄養指導の場面で活用できるような心理カウンセリングの基本的な考え方や技術についても体験的な授業を通して習得する。

##### 「基礎栄養学」

栄養学の基本的な概念を理解する。各種栄養素の特徴および生理的意義、消化・吸収機構やエネルギー代謝などを学習することにより、栄養素が生体で利用される過程を理解する。糖質の栄養、脂質の栄養、タンパク質の栄養、ビタミン・無機質、消化吸収機構の基礎を学ぶ。これらの基礎知識をもとに、栄養素の代謝について実習を通して理解を深める。実習により基礎代謝量の概念や算出方法、安静時代謝量の測定法と実測、体組成の評価、栄養素摂取量の算出および評価ができるようになる。

### 「栄養教育論」

管理栄養士として栄養教育を実施するために必要な指針や指導媒体について理解し、説明できるようになることを目指す。また、栄養関係の法規の概要を理解し、その重要性を認識する。行動科学の理論やモデルについて正確に説明できるよう、理解を深める。学習した行動科学理論やモデルを用いて実際の栄養教育プログラムを構築し実践できる力を習得する。さらに、栄養カウンセリングやコーチングを学ぶことで栄養教育に必要なコミュニケーション力の向上を目指す。また、ライフステージやライフスタイルに合わせた栄養教育の方法を学び、自ら考えることで栄養教育を実践できる能力を習得する。

### 「給食経営管理論」

給食経営管理の意義や概要を理解し、給食運営に必要な栄養・食事管理、食材管理、生産管理、安全・衛生管理、施設・設備管理、経営管理等、給食経営の実務及び給食計画について学ぶ。給食の運営や経営に関わる組織、会計・原価管理、マーケティングの手法について理解を深め、効率的かつ安全に運営するための給食経営管理全般のマネジメント能力を養う。また、各特定給食施設の特徴と管理栄養士の役割や業務内容についても学習する。これらの知識をもとに、「給食経営管理実習」では大量調理の基本と経営資源(人・物・金)を活用した効果的な給食経営管理の実際を学ぶ。対象者の栄養アセスメントによる栄養・食事計画から、実際の調理・提供、評価・改善までの給食経営管理の一連のプロセスを、実習を通して学習する。

### 「食品学」

食品成分の構造、化学的性質、成分間反応について理解し、さらに嗜好成分、食品の機能性についての知識が身につく、栄養学や生化学とも関連付けて、食品に関する化学的な理解が可能になることを目標とする。また、食品表示や日本食品標準成分表に関する理解が、実践的な専門科目に活用できるようになることを目指す。さらに、食料と環境問題、日本における食品の供給と消費の現状などを理解した上で、各種食品、調味料、香辛料および嗜好飲料等の成分特性、加工特性、保存性に関する知識を身につける。食品の機能性についても理解を深めることを目標とする。

### 「解剖生理学」

人体の構造と生理機能の基本を学び、食物の消化と吸収、代謝の機構、栄養と各種疾病との関わりなどを理解するための基礎知識の習得を目的とする。具体的には、マクロ解剖、細胞や組織の基礎知識を学び、各器官の構造と生理機能を理解する。そして、臓器別に循環器、内分泌、神経、消化器、腎臓、呼吸器、血液・免疫、生殖器等、各々臓器の生理機能を学び、各臓器間の相互作用の理解を深める。本科目での学習は他の科目(病理学、臨床栄養学、栄養生理学、臨床医学論等)を理解するための基礎知識となり重要である。